

川西市総合医療センター開院 分娩料引き上げ(2022年9月1日から施行) 平均分娩料43万170円→51万480円 約8万円引き上げ



6月議会(川西市病院事業の使用に関する条例の一部を改正する条例の制定について)の議案が提出され、川西総合医療センターを開院することに伴い2022年9月からの分娩料の改定により出産に係る費用が増額することが明らかになりました。

6月15日の厚生文教常任委員会に6日間入院、正常分娩を想定した分娩比較表が資料として提出。現在の乗数を「1.2」から「1.5」に引き上げ、時間内分娩料を7万2000円から9万円。時間外分娩料を8万4000円から10万円、深夜分娩料を9万4000円から11万円にそれぞれ増額することにより、現在の市立川西病院の平均分娩料43万170円が平均51万480円となり平均約8万円の増額です。分娩の状況により深夜になればさらに料金が追加され負担が増えることとなります。

市は、全国平均、公立病院、近隣の市の分娩料との比較を示し、現状のままでは、病院が出産を受けるときに収支マイナスになる。分娩料を改定し、収支を整える必要があると分娩料改定の正当性を述べました。

出産を経験した当事者の多くが「出産費用が高く、出産一時金42万円では賸えない。出産後もそれ以上にお金が必要となり、せめてお金に不安を感じず出産に臨みたい」と訴えています。

政府の国際調査でも日本は国民の過半数が「自分の国は子どもを産み、育てやすい国だと思わない」と答えた唯一の国です。その理由は、「教育費が高すぎる」と、雇用が不安定なこと、子どもを産み育てることに対する社会の理解がないこと」等です。教育費が完全無償で、親の働き方が安定しているスウェーデンでは、97%が「自分の国は子どもを産み、育てやすい国だ」と思う」と回答しているのと対照的です。

本来であれば、国の責任で妊娠・出産にかかる経済的負担の軽減を図り、出産一時金の金額を大幅に引き上げることが必要で、川西市議会としても全会一致で出産一時金の増額を求める意見書を国に提出しました。

分娩費用助成 補正予算700万円追加

この9月から川西市総合医療センターの分娩料が増額するため経過措置として市民の分娩にかかる支払額を引き下げるために増額分の一部を市が負担します。

*対象者

- ① 出産する者が市内在住または、出産する者の親が川西市内に在住する場合(親元出産)
- ② 川西市立総合医療センターで出産し、普通分娩の場合(帝王切開、無痛分娩は対象外)

①と②両方の要件を満たす者

*助成期間

2022年9月から2023年3月末まで



出産育児一時金の増額を求める意見書
全会派一致で可決し国に提出

国の負担により、出産費用を賸える水準に
出産一時金を引き上げること
(現在の出産一時金は、42万円)

川西市立総合医療センターの管理運営は、引き続き医療法人協和会(指定管理者)が行いますが、公立病院に変わりないはずですが、私は、長期化するコロナ過やロシアによるウクライナ侵略への影響等で物価高騰、値上げラッシュが止まらず、来月以降も値上げがさらに続くこのタイミングでなぜ分娩料を増額するのか理解、納得できません。分娩料増額は、市民サービスの後退です。市として、指定管理者と協力し地域で安心して分娩ができる公立の医療施設としての責務と役割を果たすことを強く求めました。
(最終本会議 賛成多数で可決)

初診時選定療養費

再診時選定療養費の増額

医療機関の機能分担の推進を目的として初診時選定療養費、再診時選定療養費が厚生労働省により制度化、2020年度より義務化され、紹介状を持参せずに受診した場合、通常の診療費の他、初診・再診に選定療養費を患者が負担しなければならなくなりました。

現在、市立川西病院での初診時選定療養費が消費税を含めて5千円から7千円。再診時選定療養費は2千500円から3千円に10月1日よりそれぞれ増額となります。救急医療事業、周産期事業等における救急患者など、初診時、再診時の選定療養費が発生しない場合があるとは言え、今回さらに患者負担が増えることから賛成できません。2021年度の市立川西病院の初診時選定療養費が803万円、再診時選定療養費は0円。一般外来患者は、かかりつけ医に相談することが一定定着していると言えます。

今回の改正は、紹介状なしに外来にかかった場合、診察料の一部を保険給付から除外することになり、診療報酬と増額した選定療養費が同じ額です。結局、保険給付から外した分をそのまま患者の自己負担に上乘せし、病院側の収入が増えることもなく患者の負担が増えるだけです。また、診療所等による紹介状の発行にもお金がかかり、何れにせよ、患者負担が増えることになり、お金の心配で医療を受診することをためらい重症化することが危惧されることから反対です。

(最終本会議・右記の討論を行いました)

